

夜間寝苦しく、朝から暑いと食欲がわかないことがあるかと思いますが、しっかりと水分と朝食をとってから、元気に登園してください。今年の夏も暑くなると思いますので、服装など調整、着替えの準備などしていただくようお願いいたします。

手足口病に注意しましょう

症状

発熱することもある

てのひら、足の裏、口の中、おしりに、赤い発しんがある



下痢をすることもある

夏に流行することが多い病気。感染力が強いため、何度もかかる可能性があります。

口の中の水ぼうが痛むときは、プリンや野菜スープなどのどろしのよいものを。



治った後も、2～4週間くらいは便にウイルスがいます。おむつ替えの後は、しっかり手を洗ってください。

かかってしまったら園をお休みしましょう。熱が下がって1日以上経過し、いつもどおり食事ができれば登園可能です。

きょうだい間での感染に注意!



プール熱

熱が出て、目の充血や目やに、涙が出る「プール熱（咽頭結膜熱）」。

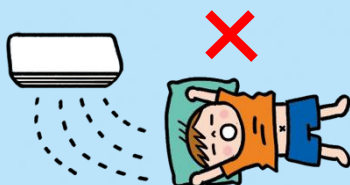
0、1、2歳がかかるのはまれですが、感染力が強いため、上の子が発症するとそこからうつることも。目やにや涙から感染するので、同じタオルを使うのはいけません。洗濯も別にして感染を防ぎましょう。

感染してしまったら、症状が治ってから2日たつまでは、園をお休みします



寝冷えに気を付けましょう

クーラーを使用する時期となり、冷やし過ぎなどによる寝冷えが心配な季節です。クーラーや扇風機は様子を見ながら止めるようにしましょう。また、パジャマは汗を吸収しやすい綿やタオル地の物を着せ、上着はズボンの中に入れます。寝る時は、お腹にタオルケットなどをかけましょう。



虫除け対策

子どもは皮膚の抵抗力が弱いので、虫刺されが原因で、とびひなどの皮膚病になってしまうことがあります。

網戸に虫除けスプレーをしたり、虫の嫌う香りのローズマリーの鉢を置いたり、虫除けパッチなどを身につけさせるなど、ご家庭でも簡単にできる虫除け対策を行いましょう。

園では、蚊取り線香を設置したり、蚊よけのスプレーを室内に噴霧したりなど対策を行っています。ですが、草木が多い環境ですので刺されることがあります。登園前に虫除け（スプレータイプやウェットティッシュタイプなど）をすることも、対策になります。